



発行所：ベトナム子供基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内

電話(代表)：03-3946-4121 ファクス：03-3946-7599

電子メール：kodomokikin@nifty.com ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/vcf/>

# ベトナム子供基金通信

No. 46

2009. 1. 17



今回(2008年10月)のベトナムスタディーツアー、里子との面会や現地の教育事情視察は、大変有意義で感動的でした。里子1人につき年2万円の里親基金は、日本の生活水準からすれば、わずかな金額です。しかし、この2万円がとても有効に使われていることを実感できたツアーでした。

お金とはもともと、人それぞれに不足しているものを交換し合うための道具として使われ始めたものでしょう。贈与である里親基金と商品売買のお金では違いがあり

ますが、私たちが2万円で交換するものは、私たちに欠如しているもの、失ってしまったものではないのでしょうか。それは子どもたちの笑顔、そして未来への希望を映す彼らの瞳の中にあるのかもしれません。

世界は今、大変な経済危機に見舞われています。これは金融市場、特に投機=お金がお金を生むというしくみが、本来お金が持つ物やサービスの交換という働きを超えて肥大化した結果でもあります。

お金のこうした暴力的な振る舞

いに対し、ささやかではあれ、自分のお金が里親基金として「正しく」使われていることは、本当にうれしいことです。お金が、人と人とを、人と社会とを結びつけることに活かされていることは、お金の暴力的な働きが私たちの生活を、人間関係を破壊しつつある時世の中で救いともいえます。

さらに多くの方々が私たちの基金に参加され、お金の「正しい」使い方をなされることをおすすめします。

(黒羽 宏)

## 「ベトナムの貧しい子どもと語り合う夢、楽しい」

ベトナムで経済困窮にあえぐ子どもたちを支援している俳優の岡幸二郎さんを帝国劇場にお訪ねしました。岡さんは話題のミュージカル『ミス・サイゴン』に米兵ジョン役で出演中でした。対談にはベトナム留学生グエン・ティ・キュー・フーンさん（東京大学教養学部2年）と増田憲義さん（東宝・専務取締役）が同席されました。岡さんと増田さんのご配慮で『ミス・サイゴン』上演中、経済的に恵まれないベトナムの子どもたちのための募金箱が帝国劇場に置かれました。



### ベトナムの子ども、生活厳しい

— 早速ですがベトナム支援をされているのはなぜですか？

岡 ベトナム在住の女性が私財を投げ出して幾人ものベトナムの貧しい子どもの生活を支援しています。私の友人がその方と親しく、友人を通してベトナム支援を依頼されました。

ベトナムに飛んで、運営する施設を見せていただき、子どもたちと話し合いました。

### 顔の見える支援

岡 ベトナムの貧しい若者たちとの出会いは、私にはとてもよい経験でした。貧しくても子どもたちは、将来歌手になりたいとか警察官になりたいなどと、目を輝かせて話すのです。心は豊かなんです

よね。

あなたがたベトナム子供基金も私の所属する組織も、支援している子どもの顔が見えますね。支援では、この「顔の見える関係」が重要だと私は思います。

### 言葉を超えて心は通う！

—ベトナムではどんな所に行くのですか？

岡 シクロ（タクシーの一種）に乗って路地裏まで案内してもらいます。ベトナム語はできないので



すが、なぜか運転手さんの「物価が上がって生活が苦しい」という話は聞き取れるのですね。観光客が行かない所に入り、いい人に出会って元気もらい、ここに本物のベトナムが息づいているなど感じてくるのです。現地で知り合った若者のバイクに乗せてもらいその子の家を訪ねるとか、ベトナムの旅は本当に楽しい。音楽や歌があると心は通いますね。

ただ、ベトナムでは農村が特に貧しいそうですが、農村まで足を

延ばせません。

私の場合、一年中公演とその練習がありますから、合間をぬっての旅行です。3日間休みが取れたら飛行機に乗って旅に出ます。地理的に近いアジア中心の旅になり、愛着が生まれましたが矛盾にも目が向きました。

### 『ミス・サイゴン』広めたい

— 『ミス・サイゴン』を観たベトナム留学生が「涙が止まらなかった」と言っています。日本だけでなくベトナムなどで上演することはできないですか？

岡 今は難しいかもしれませんが、でも、ベトナムで上演したいですね。戦争で犠牲になる女性と子ども、これは普遍のテーマで、国境を超えて理解してもらえるはずですよ。



帝国劇場に設置された募金箱（右）

## 舞台俳優の岡 幸二郎さんに聞く — 帝国劇場『ミス・サイゴン』(米兵ジョン役) に出演 —



©2008 TOHO Co.,LTD

岡 中国で『李香蘭』を上演したとき、担当者から「客席から物を投げられても舞台に立ち続けてほしい」と言われました。当時の中国で李香蘭は「売国者」の烙印を押されていました。物は飛んできませんでしたが、せりふが観客の信条と異なると客席を立つ人が続出しました。でも最終的に『李香蘭』中国公演は成功でした。

あのときのことを思えば『ミス・サイゴン』のベトナム公演は可能かもしれません。脚本を書いたアラン・ブーリルはイギリス人で、ベトナム戦争を冷静に見ていたと思います。

ただ、ヘリコプターが舞台に降りてくるシーンでお分かりのように、巨大な装置を自在に動かせる

大きな舞台が必要で、日本では今まで帝国劇場でしか上演できませんでした。福岡市に「博多座」という大きな劇場ができ、帝劇以外で初めて上演されます。

— 福岡県は「ふるさと」ですね。

岡 私は本来ミュージカル俳優になるはずではなかったのです。福岡を出るとき、内心では俳優になりたいと思っていたのですが、親には「書家になりたいから東京の大学に行かせてほしい」と頼んで

許してもらいました。大学では書道や中国語も勉強しましたが、ミュージカル俳優への猛勉強もしました。在学中老人介護施設や子ども

もの養護施設でボランティアもしました。母が世話好きで、私は母に似たのかもしれません。

### 世界に本当の愛必要

— 『ミス・サイゴン』の第2幕はバンコクですね。当時、あの街は荒廃しており「お金で何でも買える」といわれていました。

岡 アジアの貧困地域では常にそのことが問題視されています。戦争が悲惨極まりないのは明白な事実です。しかし貧困が子どもの「身売り」につながるのも重大事です。

『ミス・サイゴン』で母親のキムが命をかけて子のタムを守っているように、私たちも世界の恵まれない子にもっと愛の手を差し伸べなければならぬと思います。



『ミス・サイゴン』出演の岡幸二郎さん

©2008 TOHO Co.,LTD

【略歴】 岡 幸二郎 (おか・こうじろう) 1967年福岡県生。大東文化大学外国語学部(中国語科)卒。'89年『マイ・フェア・レディ』でデビュー。『李香蘭』『オペラ座の怪人』『レ・ミゼラブル』『風と共に去りぬ』『タイタニック』など話題作に毎年出演している。NHK大河ドラマ『義経』等TV出演も多く、『Love Collection』などCDも出している。『ミス・サイゴン』東京公演終了後ベトナムに飛び、困難を抱えている子どもたちの支援活動に参加している。本年1月3日からの福岡市博多座『ミス・サイゴン』公演にも引き続き出演。東京都在住。

# 「たくさんの人に感動！」した旅でした

優しさ、夢、親切……

2008年10月8日から17日まで、8泊9日間、ホーチミン市、ハノイ市(ともにベトナム)、アンコールワット(カンボジア)を訪ねました。

男性4名・女性5名総勢9名の旅でした。

毎日冗談を言って楽しい雰囲気を作っていた団長の高橋強さん(金沢市在住)の下、長い旅でしたが、毎日多くの感動に出合った旅でした。

何に感動したかという、「人」です。

平均年齢が26歳という若い国ベトナムは、日ごろの生活で日本人(私?)が忘れてしまった「優しさ」「親切」「将来を夢見るキラキラとした瞳」そして「家族に対する思い」など、人として生きていく上で最も大切なことを思い出させてくれました。

おかげで旅行から戻ってからは、少しは人の優しさが素直に受け止められる人間に成長したのでは？

と自己満足をしております。

## 「予想」裏切ったベトナムの実情

私は今回初めてベトナム・カンボジアを訪れました。想像以上にベトナムは発展していました。

私の想像上のベトナムは、ホーチミン市やハノイ市でも、牛が歩いていてのんびりしていると、勝手な想像をしておりました。

しかし実際は、街はバイクと車の洪水！ 若者のファッションは日本の若者とほとんど違いがない。

いったい日本とどこが違うのだろうか……？ 本当に多くの方が貧困の問題を抱えているのだろうか……？

でも、青葉奨学会

などの人の話を聞いてみると、農村ではまだ電気、水道が完備されていない所が多く、学校に通えない子どもがたくさん

いるそうです。だから、ベトナム子供基金のような支援団体が必要とされています。

しかも、都市部でも誰もが豊かな暮らしをしているとは限りませ

んでした。

もし、私がベトナム子供基金のような団体と縁のない日本人であったなら、ベトナムが抱える社会の暗い問題を見過ごしてしまっただろうと思いました。

## 「国内移民」の問題を考える

今回訪問した、ホーチミン市のビン・ロン・チュン小学校(この小学校には青葉奨学会設立時より



奨学金が出されている)には、ホウエ先生も同行され、校長先生とホウエ先生を交えて話し合いをする機会がありました。

この小学校は「移民」の問題を抱えておりました。「移民」というのは、農村から都市部に働きに来ている労働者のことを指すのだということです。

親に定職がないため、あるいは親の仕事の都合で、学校を転々としたりはならない子どもたち…。

転校に次ぐ転校で、子どもたちは安心して教育を受けることがで



# 2008年ベトナムスタディーツアーに参加して



きず、また友達関係にも問題が出てくると想像されます。

## ただ見学するのではなく

校長先生からの願いは「奨学金を一人でも多くの子に渡してあげたい」ということでした。

私は、この学校を訪れて外観をただ見学するだけでなく、この小学校とこれからどうやって関わっていくかに、訪問の真の意味があるのだろうと思っています。

支援を始めたらどのようにして



継続していくか？これが一番考えていかななくてはならない、難しい課題です。この小学校では、団長さんをはじめ、何人かの会員が全校生徒一人

ずつに「ノート」をプレゼントしました。生徒たちは大喜びで、小さいですが、温かい日越交流の日でした。このような経験は初めての会員の方もいて、楽しくて大喜びされていました。生徒のかわいらしく、元気な対応には、多くの元気をもらい、心に残る思い出となりました。

## 「子どもたちは太陽」です！

ベトナムもカンボジアも、確かに日本に比べて経済的には豊かではないのです。

「援助」は必要です。しかし、私は子どもたちの明るさに、お金では換算できない「支援」をもらいました。お金では買えないものがたくさんあります。

里子や出会った多くの方から受けた「感謝の気持ち」は、日常生活の中で、私の心の支えになってくれています。このツアーに参加できて感謝一杯！です。

## さまざまな企画をツアーに

今回はホーチミン・ハノイ、世界遺産アンコールワットを巡る、「都市型の旅」でした。

ほとんどの参加者が里子と会い、楽しいひとときを過ごしました。中には20名近くの里子と対面した会員さんもおります……。

毎年いろいろな形でスタディーツアーが続けられると思っております。

事務局として、会員の皆さまから「こんなところへ行きたい！」「こんなテーマのツアーを考えてほしい」などという意見や、スタディーツアーの企画をお待ちしております。

同じ思いを持った方との旅行は楽しいものです。

今回、ほとんどの方がお一人で参加され、お互いに理解を深めました。

本年も多くの会員や仲間が、ベトナムスタディーツアーに参加して、ベトナムとの交流を深めるだけでなく、会員相互の友情を深めていただきたいと思います。

ひかわ よしみ  
(樋川 好美)



ハノイのレストランで(右筆者)



## トナムからの手紙

### 「非常に優秀な生徒」 になりました

グエン・バン・フック

夏がやってきました！ 大学入試の雰囲気はとても緊張したものです。私も入試の準備で大変忙しいです。間もなく行われる大学入試で最高の結果を取れることを切に願っています。

親愛なる里親さま！

今年では学業で数多くのよい成績を取りました。

学年末の「非常に優秀な生徒」、省の「非常に優秀な生徒」、地域の「非常に優秀な生徒」の試験でも入賞しました。

上記のような成績を取ることができたのは、自分自身のたゆまぬ努力奮闘のみならず、家族のサポート、そして何よりも里親さま

のご関心のおかげです。

私が受け取らせていただいている里親さまからの奨学金は、物質的な贈り物であるとともに、勉強での数々の困難を乗り越え奮闘することを手助けしてくれる精神面のプレゼントでもあります。

私は今、大学への扉の前に、自分の夢への扉の前に、人生の大きな岐路に立っています。大学に合格し医者になることは私の長年の夢なのです。その夢がまもなく実現しようとしています。

私はとてもうれしいです。うれしさにつれ里親さまへの感謝の気持ちとご恩の気持ちが増してきました。

里親さまが私に与えてくださったご関心に心から感謝申し上げます。

それは私に自信を与えてくれ、人生に喜びを与えてくれました。里親さまがお元気に楽しく暮らされ、ご自身の夢を実現されますように。



本当に心から感謝しています。  
里親さま、さようなら！

### 青葉奨学会、里親の 皆さまに感謝

ドアイ・ティ・ザン

時計の針は誰に追われて動くのか  
時間は誰に追われて過ぎゆくのか  
いつか時間が巡ってまた戻るだろうか  
里親さまとお母さまがベトナムに再び  
戻ってこられるように

里親さまとお母さまへ

私は1998年9月生まれで、ナムディン県の小学校の5年生です。

里親さまがベトナムを離れて、もう30日たってしまいましたね。時間が速く過ぎていく感じがします。

里親さまとお母さま、どうお話ししたら私の気持ちがうまく伝わるのでしょうか。





援のおかげで生活の困難を乗り越えて、勉強を頑張りいい結果が出せました。

前学期の成績は、各科目平均点：10、学力：優、態度：優でした。

この成績は、私の努力のほかに、里親さまの援助があったからです。もう一度里親さまに私と家族から感謝の気持ちをお伝えします。

家族の経済状況はとても困難です。今、家を借りているので、もっと厳しくなっています。

母は専業主婦で、父はバイクタクシーの運転手をやっています。家族全員、父の収入のみで生活しています。

今、私は青葉奨学金をもらっているので学校にも行けるし、困難も乗り越えられました。これからもよろしくお願ひします。

私と同じく困難があるほかの人にも里親さまのような優しい人に出会えることを祈ります。ありがとうございます。

敬具

(本文と写真は関係ありません)

私は心に感じることをそのまま言うことしかできません。

私に愛情を注いでいただいて、本当にありがとうございます。一緒に撮った写真を楽しみにしています。

里親さまやお母さまが私のところに来てくださると聞いて、ずっと前から楽しみにしていました。

里親さまやお母さまが行ってしまうとき、本当に寂しく感じました。里親さまとお母さまに頂いた贈り物は記念として大切にいたします。

最近、私の母は遠くへ出稼ぎに行っています。私は祖父母の家で生活しています。夏休みの勉強を一生懸命にやっています。

そして里親さまとお母さまのご期待、ご支援を裏切らないように、勉強を頑張っていくことを約束します。

手紙はまだ短くしか書けないし、考えることもそんなに深くできないので、どうかお許しください。

最後になりますが、里親さまの

ご家族の皆さまのご健康をお祈りいたします。(2008年7月17日)

### 経済困難者が「優しさ」に出合うことを望んでいます

ドウオン・ザン・リン

拝啓 里親さま

里親さまとご家族の皆さまは元気になっていますか。私は小学校3年生です。

この手紙を書いて、里親さまに感謝したいです。里親さまのご支



## ●事務局から

### ◆ご入金報告 ご支援ありがとうございます(敬称略)

2008年7月

2008年11月

2008年12月

※ 最終入金日 里親基金および一般基金会員の方は、会報送付封筒の宛名ラベルの下部に印字してあります。

■「春の木運動」寄付者芳名 ご協力ありがとうございました(敬称略)

1月9日現在「春の木運動」寄付金合計 733,000円

※ ベトナム子供基金のお申し込みは下記の口座をお願いいたします。

里親基金関係(一般、賛助基金を含む)	口座名義「ベトナム子供基金」
郵便振替 00140-1-70399	銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 1495745
黄梅基金関係(個別、学校建設を含む)	口座名義「ベトナム子供基金」
郵便振替 00190-6-666994	銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 8071959

### ◆ベトナム子供基金(会員を募集しています)

里親基金(一般)：年額1口2万円 同(学生会員)：年額1口1万円	特定の「里子(奨学生)」に奨学金を支給する「里親」になっていただきます。 ベトナム青葉奨学会から里子の履歴表が届き、手紙などの交換ができます。
一般基金：年額1口1万2千円	子どもたち全体の里親という想定です。子どもの様子や会の運営などをお伝えします。
賛助基金	一般基金に準じます。金額・回数等、いっさい自由です。
ベトナム黄梅基金：1口1万円	ベトナム子供基金の会員で基金を設立し、利子を奨学金にします。
個別黄梅基金：1口30万円以上	個人で基金を設立し、利子を奨学金にします。複数の子どもを対象にします。
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と連携し、貧困地域に学校を建設し、黄梅基金を併設します。

ベトナム青葉奨学会 QUY HOC BONG LA XANH 電話：84-8-8477359 ファクス：84-8-8477527  
c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU 43D/46 Ho Van Hue, Q. Phu Nhuan, Ho Chi Minh, Viet Nam  
日本の「ベトナム子供基金」は、ベトナムの「青葉奨学会」を通し、ベトナムの子どもに贈られます。